

平成31年度
大学院教育学研究科
学生募集要項
(第3次募集)

教育実践創成専攻（教職大学院）
一般選抜、現職教員選抜

Web 出願を実施しています。

出願期間：平成31年2月26日（火）～3月4日（月）17時まで

出願期間内に「出願情報の登録」・「入学検定料の支払い」・「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。

Web 出願サイト：<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>



UNIVERSITY
OF
YAMANASHI

山梨大学

(<https://www.yamanashi.ac.jp>)

《アドミッション・ポリシー》

教育実践創成専攻では、以下の知識・技能等を有している学生を求めており、口述試験等により入学者の選抜を行います。

一般選抜

教育課程の編成

学習指導要領および教育課程に関する基礎的な知識を有している者

子ども理解や指導方法

子ども理解に基づく適切な指導法について基礎的な知識を有している者

教師や学級、学校のあり方

教師の役割と学級経営や学校経営の意義について知識を有している者

地域の子どもとその教育

地域の教育課題について関心を有している者

教科指導

各教科の指導について基礎的な知識と技能を有している者

教育的な諸課題の探究

教育課題に関して強い探究心を有している者

現職教員選抜

教育課程の編成

学習指導要領および教育課程に関する基礎的な知識を十分に有している者

子ども理解や指導方法

子ども理解に基づく適切、かつ、きめ細やかな指導法について知識を有している者

教師や学級、学校のあり方

教師の役割と学級経営や学校経営の意義について十分な知識を有している者

地域の子どもとその教育

地域の教育課題について強い関心を有している者

教科指導

各教科の指導について高度な知識と技能を有している者

教育的な諸課題の探究

教育課題に関して教育実践に裏打ちされた強い探究心を有している者

現職教員選抜（学校マネジメント分野）

教育課程の編成

学習指導要領および教育課程に関する高度な知識を十分に有している者

子ども理解や指導方法

子ども理解に基づく適切、かつ、多様な指導法について高度な知識と技能を有している者

教師や学級、学校のあり方

教師の役割と学級経営や学校経営の意義について高度な知識を有している者

地域の子どもとその教育

地域の教育課題について強い関心と知識を有している者

教育的な諸課題の探究

教育課題に関して教育実践に裏打ちされた強い探究心と俯瞰する力を有している者

目 次

募 集 要 項

| | | |
|----|------------------------------|---|
| 1 | 専攻及び募集人員 | 1 |
| 2 | 出願資格 | 1 |
| 3 | 出願手続等 | 2 |
| 4 | 出願書類 | 3 |
| 5 | 出願期間 | 5 |
| 6 | 選抜方法 | 5 |
| 7 | 試験日時及び場所 | 6 |
| 8 | 合格者の発表 | 7 |
| 9 | 合格者の発表後の提出書類 | 7 |
| 10 | 入学手続 | 8 |
| 11 | 授業料 | 8 |
| 12 | その他の経費 | 8 |
| 13 | 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談 | 8 |
| 14 | その他 | 8 |

入 学 案 内

| | | |
|---|--------------------------|----|
| 1 | 教育目標及び養成する人材 | 9 |
| 2 | 履修基準及び単位数等 | 11 |
| 3 | 修了要件及び学位の授与 | 11 |
| 4 | 取得可能な教員免許状について | 12 |
| 5 | 大学院設置基準に定める教育方法の特例措置について | 12 |
| 6 | 学部聴講及び学部聴講による一種免許状取得について | 12 |
| 7 | 長期履修学生制度について | 14 |
| 8 | 短期履修学生制度について | 15 |
| 9 | 開設授業科目（予定） | 16 |

Web 出願利用ガイド

山梨大学（甲府キャンパス）建物配置図及び周辺図

【問い合わせ先】

山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話：055-220-8046

平日（月～金）8時30分～17時（休日、祝日を除く。）

募 集 要 項

1 専攻及び募集人員

| 専 攻 | コ ー ス | 分 野 | 募集人員 |
|----------|-------------|-------------------------|------|
| 教育実践創成専攻 | 教育実践開発コース | ・学校マネジメント分野 ・教師力育成分野 | 若干名 |
| | 教科領域実践開発コース | ・初等教科教育分野 ・中等教科教育分野 | |

(注 1) 学校マネジメント分野以外の志望者は、「教師力育成分野」、「初等教科教育分野」、「中等教科教育分野」の 3 分野から、必ず第一希望及び第二希望を出願時に選択すること。

(注 2) 募集人員には、山梨県教育委員会から派遣される現職教員を含む。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方で教育職員免許法（昭和 24 年法律第 147 号）に定める普通免許状（二種以上）を有する方又は平成 31 年 3 月までに取得する見込みの方に限る。

現職教員選抜に出願できる方は、平成 31 年 4 月 1 日現在で 3 年以上の教職経験を有し、現に学校又は教育機関に専任として在職している方に限る。

教育実践開発コース 学校マネジメント分野に出願できる方は、平成 31 年 4 月 1 日現在で 10 年以上の教職経験を有し、現に学校又は教育機関に専任として在職し、教育委員会の推薦を有する方に限る。

- (1) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学を卒業した方又は平成 31 年 3 月までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された方又は平成 31 年 3 月までに授与される見込みの方（注 1）
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した方又は平成 31 年 3 月までに修了見込みの方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該国の学校における 16 年の課程を修了した方又は平成 31 年 3 月までに修了見込みの方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされる方に限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は平成 31 年 3 月までに修了見込みの方。
- (6) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方（昭和 28 年文部省告示第 5 号）（注 2）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす方に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は平成 31 年 3 月までに修了見込みの方
- (8) 平成 31 年 3 月末現在において大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得した方と本学大学院が認めた方
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、平成 31 年 3 月までに 22 歳に達している方

(注 1) 学位の取得見込みの方

修業年限 2 年の短期大学に置かれた修業年限 2 年の専攻科、修業年限 3 年の短期大学に置かれた修業年限 1 年の専攻科及び高等専門学校に置かれた修業年限 2 年の専攻科のいずれかであって、学位規則第 6 条第 1 項の規定に基づき大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を行ったこれら専攻科を修了する見込みの方で、当該修了見込み年度内に学士の学位の授与を受けようとする方

(注 2) 昭和 28 年文部省告示第 5 号 (抄)

10 教育職員免許法 (昭和 24 年法律第 147 号) による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有し 22 歳に達した方

【注意事項】

「2 出願資格」の(8)、(9)のいずれかの資格により入学を志願しようとする方については、事前に出願の資格審査を行いますので、提出書類等について、2月15日(金)までに教学支援部入試課に問い合わせてください。

3 出願手続等

(1) Web 出願の事前準備 (以下の①～⑥を準備してください)

①インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン・タブレット端末、②A4 サイズの印刷が可能なプリンター、③利用者登録時に必要となるメールアドレス、④出願書類の提出に必要な市販の角型 2 号封筒 (24cm×33.2cm)、⑤362 円分の郵便切手 (受験票送付用)、⑥顔写真の画像ファイル

(2) 出願方法

① Web 出願サイトから、利用者情報・出願情報・顔写真の画像ファイルの登録

↓

② 入学検定料の支払い

↓

③ 出願書類の印刷・作成・提出【出願期間内必着】

※出願期間内に①～③の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願を受け付けすることはできません。

(3) Web 出願サイト

URL (<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>) からアクセスし、画面の案内に従って、利用者情報及び出願情報の登録をしてください。

(4) 入学検定料の支払いについて

入学検定料 30,000 円

- ・検定料支払画面にて決済方法を選択し、支払手続を行ってください。
- ・全ての支払方法に対して、別途必要な手数料は志願者負担になります。
- ・いかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還しません。

利用できる方法は以下のとおりです。支払方法によって、入金が確認されるまで2時間程度かかる場合があります。

- ① コンビニエンスストア
- ② 金融機関 ATM (Pay-easy)
- ③ ネットバンキング
- ④ クレジットカード

【入学検定料の免除について】

本学では、東日本大震災、平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨及び平成30年北海道胆振東部地震により被災した山梨大学入学志願者の本選抜試験入学検定料の免除措置を行います。免除を申請する方は、Web出願サイトで出願情報の登録を完了する前に教学支援部入試課へお問い合わせください。免除申請書類等の詳細は、本学ホームページで確認してください。

(5) Web出願に関する問い合わせ先

教学支援部入試課 電話：055-220-8046

E-mail：web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

4 出願書類

- ・ 出願書類には、各自が準備する書類とWeb出願サイトから印刷する書類があります。
- ・ 本学ホームページから印刷する書類は、次のURLからダウンロードしてください。
本学ホームページ > 入試情報 > 大学院入試 > 募集要項・選抜方法
<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45> (出願登録期間前からダウンロード可能)
- ・ 外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

| 書 類 等 | 提出該当者 | 摘 要 |
|---------------------------------------|------------------------------------|---|
| 封筒貼付票 | 全 員 | Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した『封筒貼付票』を各自で用意した市販の角型2号封筒(24cm×33.2cm)に貼り付けてください。 |
| 成績証明書 | 全 員 | ・ 最終学歴のもの ・ 出身大学長等が発行したもの |
| 卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書 | 「2.出願資格」(1)、(2)、(3)、(5)、(7)の該当者(注) | ・ 最終学歴のもの ・ 出身大学長等が発行したもの ※本学を卒業見込の方は不要 |
| 学位授与証明書 | 「2.出願資格」(2)の該当者(注) | 大学評価・学位授与機構が発行したもの |
| 教育職員免許状授与証明書又は教育職員免許状の写し又は免許状取得見込み証明書 | 全 員 | 免許状を授与した都道府県教育委員会が発行したもの |

| | | |
|----------------------|-----------------------------------|---|
| 履 歴 書 | 全 員 | Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した『履歴書』を提出してください。 |
| 郵便切手貼付用紙 (受験票送付用) | 全 員 | Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した『郵便切手貼付用紙』に 362 円分の郵便切手（速達料を含む）を過不足なく貼り付けてください。 |
| 志望理由書 | 全 員 | 本学ホームページから「志望理由書」を印刷し、内容を記入の上、提出してください。志望理由書の内容は、専攻の志望動機及び2年間の目標（身に付けたい力量、解決したい課題など）をまとめてください。 |
| 受験承諾書 | 受験に際して 所属機関の承諾を 必要とする方 | 本学ホームページから「受験承諾書」を印刷し、所属長が承諾したものを提出してください。 |
| これまでの 教育実践の概要 | 現 職 教 員 (学校マネジメント 分野の志願者以外) | 本学ホームページから「これまでの教育実践の概要」を印刷し、2,000 字程度で内容を記入の上、提出してください。併せて、これまでの教育実践を証明できるもの（学会誌の論文、各種研究会の実践報告や資料、学級通信などの日常的な教育実践資料など3点まで。コピー・写真可）を添付してください。 |
| 研究業績調書 | 現 職 教 員 (学校マネジメント 分野の志願者) | 本学ホームページから各書類を印刷し、内容を記入の上、提出してください。 |
| 職務実績調書 | | |
| 教育委員会による推薦書 | | |
| 住 民 票 | 戸籍が日本国 以外の方 | 住居地の市区町村長が交付する住民票（在留資格及び在留期間が明記されたもの）を提出してください。 住民登録をしていない方は、旅券の写しを提出してください。 |
| 戸 籍 抄 本 | 該 当 者 | 改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は提出してください。 |

(注) 「2 出願資格」(2) に該当する方で学位取得見込みの方は次のものを提出してください。

- ① 在籍する短期大学の専攻科又は高等専門学校専攻科の修了見込証明書
- ② 在籍する短期大学学長又は高等専門学校長による学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書

5 出願期間

(1) 出願期間

平成 31 年 2 月 26 日（火）～ 3 月 4 日（月）17 時まで *期間内必着

出願期間内に Web 出願サイトで「出願情報の登録」・「入学検定料の支払い」・「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願の受け付けをすることはできません。

(2) 出願書類等の提出方法

- ① Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した『封筒貼付票』を各自で用意した市販の角型 2 号封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けてください。
- ② 郵送の場合、郵便局窓口から書留速達で郵送してください。郵便事情を考慮し、必ず出願期間内に本学へ到着するように郵送してください。
- ③ 持参の場合、出願期間中の平日（休日・祝日を除く）9 時から 16 時 30 分の間に教学支援部入試課窓口へ提出してください。
- ④ Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から『出願書類等チェック表』を印刷し、出願書類が全て揃っているか確認後、提出してください。

(3) 出願書類等の郵送先・照会先

教学支援部入試課 電話：055-220-8046

〒400-8510 甲府市武田 4 丁目 4-37

【出願書類の提出に際しての留意事項】

- ① 出願情報等及び出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあるので十分注意してください。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても、住所・連絡先以外の出願情報登録内容の変更は認めません。また、出願書類の返還及び変更も認めません。
- ③ 出願情報等が事実と相違していることが判明した場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

6 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、口述試験、書類審査、口頭試問（学校マネジメント分野のみ）の結果を総合的に判断して、合格者を決定します。

| コース | 分野 | 項目（配点） |
|--------------------------|---------------------------------|-----------------------------|
| 教育実践開発コース 教科領域実践開発コース | 教師力育成分野 初等教科教育分野 中等教科教育分野 | 口述試験（200） 書類審査（100） |
| 教育実践開発コース | 学校マネジメント分野 | 口述試験・口頭試問（200） 書類審査（100） |

- ・教育実践開発コース 教師力育成分野
- ・教科領域実践開発コース

| 選 抜 | 口述試験 |
|--------|---|
| 一般選抜 | 志望理由、現在の学校教育の課題、学校改善・授業改善に関する課題等について、志望理由書に基づいて試問します。 |
| 現職教員選抜 | 志望理由、学校改善・授業改善に関する課題等について、志望理由書、これまでの教育実践の概要に基づいて試問します。 |

- ・教育実践開発コース 学校マネジメント分野

| 選 抜 | 口述試験・口頭試問 | |
|--------|-----------|---|
| 現職教員選抜 | 口述試験 | 志望理由、学校改善・授業改善に関する課題等について、志望理由書に基づいて試問します。 |
| | 口頭試問 | 学校経営、組織マネジメントに関わる分野について、研究業績調書及び職務実績調書に基づいて試問します。 |

7 試験日時及び場所

(1) 試験日時：平成 31 年 3 月 15 日（金）

- ・教育実践開発コース 教師力育成分野
- ・教科領域実践開発コース

| 選 抜 | 試験科目 | 試験時間 | 集合時刻 | 集合場所 |
|--------|------|-----------------|----------|----------------------------------|
| 一般選抜 | 口述試験 | 14：00 ～17：00 | 13：40 まで | LC 号館 1 階 LC-11 教室 (甲府西キャンパス) |
| 現職教員選抜 | 口述試験 | 9：30 ～12：00 | 9：10 まで | |

- ・教育実践開発コース 学校マネジメント分野

| 選 抜 | 試験科目 | 試験時間 | 集合時刻 | 集合場所 |
|--------|------|-----------------|---------|----------------------------------|
| 現職教員選抜 | 口述試験 | 9：30 ～12：00 | 9：10 まで | LC 号館 1 階 LC-11 教室 (甲府西キャンパス) |
| | 口頭試問 | 12：00 ～13：00 | | |

(2) 試験場：山梨大学 甲府西キャンパス（甲府市武田 4 丁目 4-37）

指定された集合時間までに、甲府西キャンパス LC 号館 1 階 LC-11 教室（8：40 開場）に集合してください。試験室は、当日集合場所で案内します。

- (3) 教育実践開発コース 学校マネジメント分野志願者のうち短期履修学生制度を希望する方は、試験日に「短期履修学生申請書」及び「修学前後プログラム履修誓約書」を必ず持参してください。書類は下記 URL からダウンロードして下さい。

・山梨大学教育学部・教育学研究科ホームページ

http://www.edu.yamanashi.ac.jp/modules/kenkyu/index.php?content_id=1

(2月中旬からダウンロード可能)

8 合格者の発表

平成 31 年 3 月 20 日（水）16 時頃、甲府西キャンパス J 号館玄関口に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。

なお、合格者の受験番号をホームページ(<https://www.yamanashi.ac.jp>)にも掲載しますが、最終的な確認は合格通知書で行ってください。

(電話等による可否の問い合わせには応じかねます。)

9 合格者の発表後の提出書類

以下の書類を次の URL からダウンロードし、必要事項を記入の上、入学手続き時（平成 31 年 3 月 22 日（金）～3 月 27 日（水））に教育学域支援課教務グループへ持参または郵送してください。

・山梨大学教育学部・教育学研究科ホームページ

http://www.edu.yamanashi.ac.jp/modules/kenkyu/index.php?content_id=1

(2月中旬からダウンロード可能)

- (1) 平成 31 年度実習に関わる事前調書
合格者全員、「平成 31 年度実習に関わる事前調書」を提出してください。
- (2) 長期履修学生申請書
合格者のうち長期履修制度を希望する方は、「長期履修学生申請書」を提出してください。
- (3) 教員免許状一種取得申請書
合格者のうち教員免許状一種取得を希望する方は、「教員免許状一種取得申請書」に希望する教員免許状の「学力に関する証明書」を添付のうえ、提出してください。
- (4) 合格者の発表後の提出書類に関する問い合わせ先
教育学域支援課教務グループ 電話：055-220-8732 又は 8735
〒400-8510 甲府市武田 4 丁目 4-37

10 入学手続

(1) 入学手続期間：平成 31 年 3 月 22 日（金）～ 3 月 27 日（水）

【留意事項】

- ① 指定された期間内に入学手続を完了しなかった方は、本学への入学の意志がなく入学を辞退したものととして取り扱います。
- ② 入学手続には、本学の受験票の提示が必要となりますので、試験終了後も大切に保管してください。

(2) 納入金

入学料 282,000 円（予定）

入学料は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

(3) その他

入学手続関係書類は、合格通知書とともに郵送します。

11 授業料

前期分：267,900 円〔年額 535,800 円〕（予定）

- ・授業料は予定額であり、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金が適用されます。
- ・授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

12 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

13 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、平成 31 年 2 月 15 日（金）までに教学支援部入試課に申し出てください。

14 その他

出願にあたって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査を行うために利用します。また、入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法検討資料作成のために利用します。

なお、入学者については、知り得た個人情報を①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

入 学 案 内

1 教育目標及び養成する人材

教育実践開発コース

■ 教育目標

地域や学校の課題に即した学校改善・学級改善・授業改善の構想力・実践力とともに、教育に関する高度な実践的専門性と、教育実践をリードする力を育成することを目標とする。

■ 養成する人材

地域や学校の教育課題への対応力や、学校改善に対するマネジメント力等の総合的な実践力を有する教員を養成する。特に、全コース必修の「発達障害児の心理」に加え、「インクルーシブ教育」・「障害児の指導法」等の科目により、発達障害を抱えた児童・生徒への実践的指導力を持つ教員を養成する。

学校マネジメント分野

■ 教育目標

地域や学校の課題に即した学校改善・学級改善・授業改善の構想力・実践力とともに、教職員の管理、学校安全、地域との連携などを通じて学校を適切にマネジメントする力を育成することを目標とする。

■ 養成する人材

学校経営と組織マネジメントに関する高度な専門的力量的の習得により、学校改善、学校安全と危機管理、学校組織経営などの力を持ち、学校づくりをリードできる教員を養成する。

教師力育成分野

■ 教育目標

地域や学校の課題に即した学校改善・学級改善・授業改善の構想力及び、教育実践をリードする力を育成することを目標とする。特に、地域や学校の現代的な教育課題を解決する力を育成することを目標とする。

■ 養成する人材

学校現場が抱える様々な問題を解決する力を有し、カリキュラム開発、教育臨床（生徒指導・教育相談）、異校種間の連携、地域との連携を実践する力を持つ教員を養成する。

教科領域実践開発コース

■ 教育目標

小学校、中学校・高等学校の各教科において、質の高い教材研究をもとにした授業の構想力・実践力を備え、さらに、教科横断と校種縦断という観点から高度な授業開発力を育成することを目標とする。

■ 養成する人材

小学校、中学校・高等学校の各教科において、質の高い教材研究をもとにした授業実践力を持つ教員を養成する。さらに、教科横断と校種縦断という観点から、より高度な授業開発・実践が可能な教員を養成する。

初等教科教育分野

■ 教育目標

小学校段階における各教科の目標・内容を踏まえ、さらに教科横断と校種縦断という観点から高度な授業開発力を育成することを目標とする。

■ 養成する人材

小学校の各教科（国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、家庭、体育、外国語）において、質の高い教材研究をもとにした授業実践力を持ち、さらに教科横断と校種縦断の観点から高い授業開発力を持つ教員を養成する。

中等教科教育分野

■ 教育目標

中学校・高等学校段階における各教科の目標・内容を踏まえ、さらに教科横断と校種縦断という観点から高度な授業開発力を育成することを目標とする。

■ 養成する人材

中学校・高等学校の各教科（中学校の教科をベースに、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語、書道、工芸）において、質の高い教材研究をもとにした授業実践力を持ち、さらに教科横断と校種縦断の観点から高い授業開発力を持つ教員を養成する。

2 履修基準及び単位数等

(1) 単位数

| 科目区分 | 教師力育成分野 初等教科教育分野 中等教科教育分野 | 学校マネジメント分野 |
|---------|---------------------------------|------------|
| 共通必修科目 | 12 単位 | 12 単位 |
| 分野必修科目 | 6 単位 | 8 単位 |
| 分野選択科目 | 12 単位 | 12 単位 |
| 課題研究 | 6 単位 | 4 単位 |
| 実習 I・II | 10 単位 | 10 単位※ |

※ 短期履修が認められた方は、学校マネジメント分野の実習 I・II の 10 単位について、実習 I の 5 単位が免除の対象となります。

(2) 時限と時間

| 時 限 | 時 間 |
|-----|-------------------|
| I | 9 : 00 ~ 10 : 30 |
| II | 10 : 40 ~ 12 : 10 |
| | (昼休み) |
| III | 13 : 10 ~ 14 : 40 |
| IV | 14 : 50 ~ 16 : 20 |
| V | 16 : 30 ~ 18 : 00 |
| VI | 18 : 10 ~ 19 : 40 |

3 修了要件及び学位の授与

- (1) 教育実践開発コース教師力育成分野・教科領域実践開発コース
教育学研究科に 2 年以上在学し、教育学研究科規則に定める授業科目について 46 単位以上（実習 10 単位を含む）を修得した方には、教職修士（専門職）の学位を授与します。
- (2) 教育実践開発コース学校マネジメント分野
教育学研究科に 1 年以上在学し、教育学研究科規則に定める授業科目について 46 単位以上（実習単位を含む）を修得した方には、教職修士（専門職）の学位を授与します。
なお、短期履修が認められて実習 I の 5 単位が免除された場合、合計 41 単位以上を修得する必要があります。

4 取得可能な教員免許状について

小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭一種免許状を有する方は、本研究科において教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得することにより、それぞれに対応する専修免許状を取得することができます。詳細は次のとおりです。

| | |
|-------------|---|
| 小学校教諭専修免許状 | |
| 中学校教諭専修免許状 | 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語 |
| 高等学校教諭専修免許状 | 国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、保健体育、家庭、英語、書道 |

5 大学院設置基準に定める教育方法の特例措置について

現職教員等が高等教育を受ける機会を拡大するため、現職教員等に対して出願時の申請に基づき大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を次のとおり実施します。

- (1) 特例措置の適用を認定された方は、修業年限の前半1年間を研究科における研究と授業に専念します。この期間における履修単位は、22単位以上とします。
- (2) 後半の1年間は、在職校でその勤務と教育実践研究とを並行し、研究科の指定した日に登校して研究指導を受けるとともに、定められた科目の単位の履修を行います。
- (3) 特例による授業は、現職教員等の勤務様態を勘案し、平日においては夜間の授業時間(18時10分～19時40分)を開設し、長期休業期間においては集中講義等を開設します。

6 学部聴講及び学部聴講による一種免許状取得について

学部で開講されている授業科目の聴講を希望する場合は、指導教員の承諾を得て、入学時又は各学期初めに申請を行い、委員会において承認を得た場合のみ履修することができます。ただし、修了要件に含めることはできません。

また、教員免許状一種取得のために学部聴講を行う場合は、以下のとおりとなります。

(1) 概要

大学院で学びながら、学部で開設している教育職員免許状の取得資格を得るための授業科目を履修し、所定の単位を得ることで、一種免許状の取得が可能となります。さらに、大学院で所定の単位を修得することにより、専修免許状を取得することもできます。学部レベルの教員養成カリキュラムを受講しながら、同時に修士レベルの高度な教育実践力及び専門的知識の習得を目指すことができます。

ただし、時間割の都合上、必要な授業科目を標準修業年限内で履修できない場合があります。なお、この制度は大学院での研究活動に支障を生じない範囲で利用できます。

(2) 取得できる免許状について

取得できる免許状は、本学教育学部で課程認定を受けているものとなります。入学時に保有している免許状とは異なる校種の免許状取得を希望する場合は、取得できる免許状の数は、原則として1校種のみとします。なお、本人が所有する免許状を二種から一種にする場合は、1校種のみという制限はありません。

(3) 申請及び履修方法

教職大学院で学部聴講により一種免許状の取得を希望する場合は、入学時又は各学期始めに申請を行います。各自希望する免許状の取得に必要な単位数を本学の履修規程等で確認してください。その上で、大学において単位の共有や読み替え等が可能であるかの判断を行い、取得が見込める場合はこの制度の利用を認めます。

希望校種の教育職員免許状の所要資格を取得するために、学士号取得時に履修した科目・単位で不足している分を、学部において開設されている授業科目によって充当することになります。ただし、教育職員免許状を取得するための単位とは別に、修了要件を満たさなければなりません。

(4) 在学期間

学士号取得時に履修し終えている教職科目の単位数によっては、2年以上の在学期間が必要になる場合があります。免許状の取得が認められた学生は、希望すれば長期履修制度の利用が認められます。なお、この場合に認められるのは3年間のみです。(4年間の長期履修は認められません) [長期履修制度については次項参照]

(5) 授業料

授業料については、在籍期間分の授業料を支払うことになります。教育職員免許状取得に必要な学部開設科目の授業料は徴収しません。なお、長期履修制度が適用された場合は、2年間に支払うべき授業料総額を3年間で分割して支払うことになります。

詳細は、教育学域支援課教務グループ（電話：055-220-8735）にお問い合わせください。

7 長期履修学生制度について

この制度は、職業を有していること等により修学が困難な場合又は学部聴講が認められ一種免許状の取得を希望している場合、標準修業年限（2年）を超えて、一定期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することができるものです。履修すべき総単位数は、2年で修了するものと同じであることから、単年度の時間的負担は相当軽減されることになります。

ただし、長期履修学生として認められるためには、入学時又は1年次の2月に山梨大学長に必要書類を添付の上、申請して許可を得ることが必要となります。

長期履修学生として認められますと、通常2年の大学院修了年限のところを、例えば3年間で修了することができます。この間の授業料は、2年分を3年に分割して納入することになります。すなわち2年間（4学期）の授業料1,071,600円（年間535,800円）を3年間（6学期）に分割して納めていただくために、年あたりの負担額は357,200円（每学期178,600円）と少なくなります。なお、職業を有している等の理由による場合は最大4年とし、免許状取得の場合は最大3年とします。

また、状況の変化により長期履修期間で修了できない場合には、その長期履修期間を含めて6年まで在学できます。このうち長期履修期間を超えた期間については留年扱いとなり、通常の授業料が適用されることとなります。また、在学中に新規申請したり、許可された長期履修期間を1回に限り延長（3年を4年に）又は短縮（4年を3年に）することもできます。

詳細は、教育学域支援課教務グループ（電話：055-220-8735）にお問い合わせください。

授業料納入方法例

| 修業年限 | 授業料総額 1,071,600円 | | | |
|-----------------|------------------|----------|----------|----------|
| 2年〔通常〕 (4学期) | 1年目 | | 2年目 | |
| | 535,800円 | | 535,800円 | |
| 3年 (6学期) | 1年目 | 2年目 | | 3年目 |
| | 357,200円 | 357,200円 | | 357,200円 |
| 4年 (8学期) | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 |
| | 267,900円 | 267,900円 | 267,900円 | 267,900円 |

※ 平成30年度の授業料年額により計算されたものです。

※ 授業料が改定された場合は、改定後の金額を基に再計算されます。

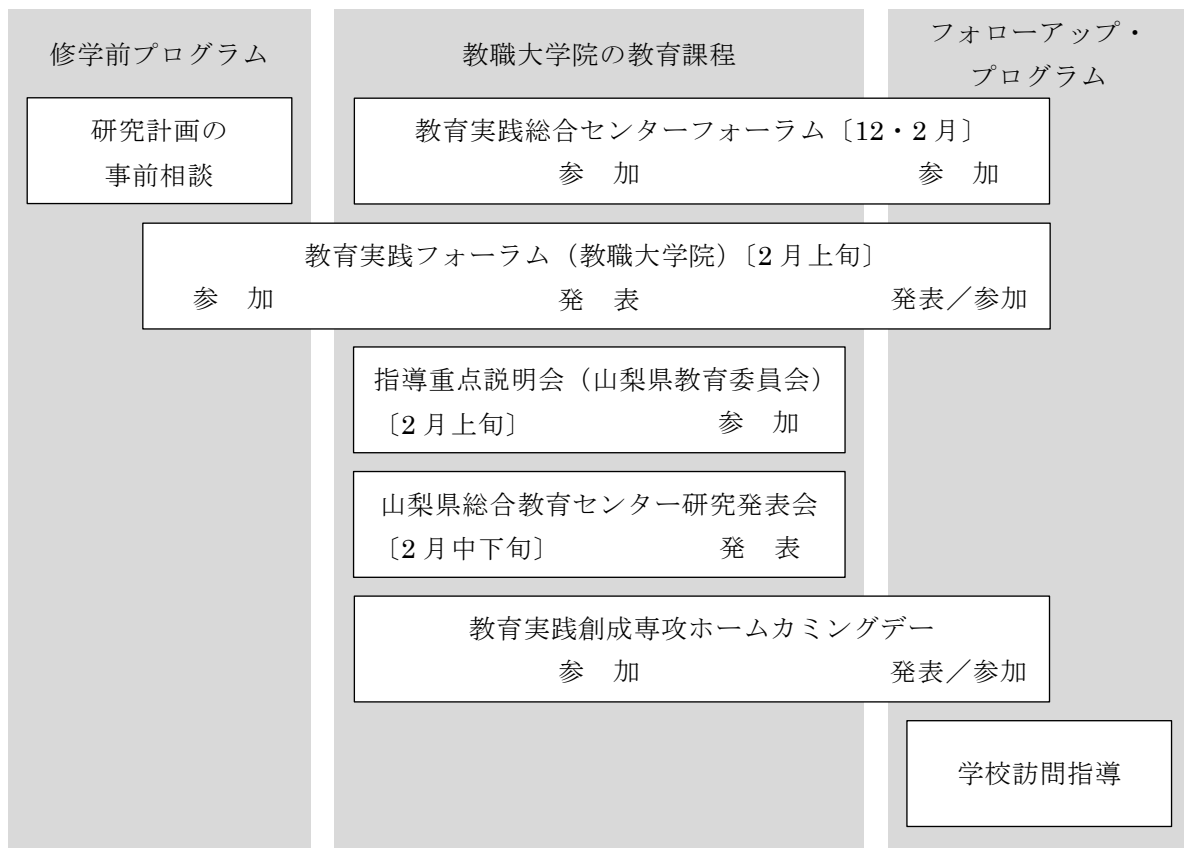
8 短期履修学生制度について (教育実践開発コース 学校マネジメント分野志願者対象)

この制度は、厳正な審査により認められた方が、1年間の履修によって修了することができるものです。

この制度の申請には、①短期履修学生申請書、②研究業績調書、③職務実績調書、④教育委員会による推薦書、⑤修学前後プログラム履修誓約書が別途必要になります。(出願時提出②③④、試験日提出①⑤) これらの申請書類及び出願書類により審査を行い、認められた場合は、実習Ⅰの5単位が免除となり、1年間の履修計画を立てて、短期履修学生として在籍します。また、授業料は1年間のみとなります。

短期履修を認めるにあたり、修了生の資質保証を確保するため、次の3つの課題が必須となります。

- (1) 教職大学院修学前プログラム・・・入学後の円滑な修学を保証するもの。
 - (2) 実習Ⅰ (5単位) 代替レポート・・・入学前の実績と前期までの修学を通じて学校マネジメント分野としての十分な学修成果を短期履修で保証できるか確認するもの。
 - (3) 教職大学院フォローアップ・プログラム・・・理論と実践の融合を定着させ、学び続ける教師像として職務に一層取り組むことができるように保証するもの。
- ※ 短期履修学生には最低1年間のフォローアップが義務づけられます。



詳細は、教育学域支援課教務グループ(電話：055-220-8735)にお問い合わせください。

9 開設授業科目（予定）

◎ 必修科目、○ 分野必修科目、△ 分野選択科目

・教育実践開発コース 学校マネジメント分野

| 授 業 科 目 | 単 位 | 必 選 |
|------------------------|-----|-----|
| 教育課程の内容と編成 | 2 | ◎ |
| 発達障害児の心理 | 2 | ◎ |
| 道徳教育の理論と実践 | 2 | ◎ |
| 学校・学級文化の創造と学級経営 | 2 | ◎ |
| 現代学校・教師論 | 2 | ◎ |
| 教育・地域課題挑戦プロジェクト実践論 | 2 | ◎ |
| 学校安全と危機管理 | 2 | ○ |
| 学校組織経営論 | 2 | ○ |
| 教育法規とコンプライアンス | 2 | ○ |
| 学校改善論 | 2 | ○ |
| 授業研究マネジメント論 | 2 | △ |
| エビデンスに基づく教育支援 | 2 | △ |
| 情報教育・ICT活用の理論と実践 | 2 | △ |
| 教育政策の理論と実践 | 2 | △ |
| 山梨の学校改革 | 2 | △ |
| 特別の教育課程 | 2 | △ |
| 小学校における接続期カリキュラムの実践と課題 | 2 | △ |
| 教育相談・生徒指導論 | 2 | △ |
| インクルーシブ教育 | 2 | △ |
| 課題研究Ⅰ | 2 | ◎ |
| 課題研究Ⅱ | 2 | ◎ |
| 実習Ⅰ（学校マネジメント） | 5 | ◎ |
| 実習Ⅱ（学校マネジメント） | 5 | ◎ |

・教育実践開発コース 教師力育成分野

| 授 業 科 目 | 単 位 | 必 選 |
|------------------------|-----|-----|
| 教育課程の内容と編成 | 2 | ◎ |
| 発達障害児の心理 | 2 | ◎ |
| 道徳教育の理論と実践 | 2 | ◎ |
| 学校・学級文化の創造と学級経営 | 2 | ◎ |
| 現代学校・教師論 | 2 | ◎ |
| 教育・地域課題挑戦プロジェクト実践論 | 2 | ◎ |
| 授業研究マネジメント論 | 2 | ○ |
| 情報教育・ICT活用の理論と実践 | 2 | ○ |
| 教育相談・生徒指導論 | 2 | ○ |
| 学校安全と危機管理 | 2 | △ |
| 教育政策の理論と実践 | 2 | △ |
| 山梨の学校改革 | 2 | △ |
| 特別の教育課程 | 2 | △ |
| 小学校における接続期カリキュラムの実践と課題 | 2 | △ |
| 子どもエンパワーメント論 | 2 | △ |
| インクルーシブ教育 | 2 | △ |
| 障害児の指導法 | 2 | △ |
| 課題研究Ⅰ | 2 | ◎ |
| 課題研究Ⅱ | 2 | ◎ |
| 課題研究Ⅲ | 2 | ◎ |
| 小学校実習Ⅰ（課題発見実習） | 5 | ◎※1 |
| 中・高等学校実習Ⅰ（課題発見実習） | 5 | ◎※1 |
| 小学校実習Ⅱ（課題達成実習） | 5 | ◎※2 |
| 中・高等学校実習Ⅱ（課題達成実習） | 5 | ◎※2 |

※1 及び※2 からそれぞれ 1 科目選択必修

・教科領域実践開発コース 初等教科教育分野

| 授 業 科 目 | 単 位 | 必 選 |
|----------------------|-----|-----|
| 教育課程の内容と編成 | 2 | ◎ |
| 発達障害児の心理 | 2 | ◎ |
| 道徳教育の理論と実践 | 2 | ◎ |
| 学校・学級文化の創造と学級経営 | 2 | ◎ |
| 現代学校・教師論 | 2 | ◎ |
| 教育・地域課題挑戦プロジェクト実践論 | 2 | ◎ |
| 授業研究マネジメント論 | 2 | ○ |
| 教育相談・生徒指導論 | 2 | ○ |
| 初等教科横断型・総合型プロジェクト実践論 | 2 | ○ |
| 国語科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 英語科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 社会科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 数学科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 理科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 家庭科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 音楽科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 図画工作科・美術科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 体育科・保健体育科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 初等国語科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 初等英語科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 初等社会科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 初等数学科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 初等理科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 初等家庭科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 初等音楽科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 初等図画工作科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 初等体育科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 課題研究Ⅰ | 2 | ◎ |
| 課題研究Ⅱ | 2 | ◎ |
| 課題研究Ⅲ | 2 | ◎ |
| 小学校実習Ⅰ（課題発見実習） | 5 | ◎ |
| 小学校実習Ⅱ（課題達成実習） | 5 | ◎ |

・教科領域実践開発コース 中等教科教育分野

| 授 業 科 目 | 単 位 | 必 選 |
|----------------------|-----|-----|
| 教育課程の内容と編成 | 2 | ◎ |
| 発達障害児の心理 | 2 | ◎ |
| 道徳教育の理論と実践 | 2 | ◎ |
| 学校・学級文化の創造と学級経営 | 2 | ◎ |
| 現代学校・教師論 | 2 | ◎ |
| 教育・地域課題挑戦プロジェクト実践論 | 2 | ◎ |
| 授業研究マネジメント論 | 2 | ○ |
| 教育相談・生徒指導論 | 2 | ○ |
| 中等教科横断型・総合型プロジェクト実践論 | 2 | ○ |
| 国語科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 英語科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 社会科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 数学科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 理科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 技術科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 家庭科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 音楽科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 図画工作科・美術科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 体育科・保健体育科の本質と目標・内容構成 | 2 | △ |
| 中等国語科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 中等英語科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 中等社会科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 中等数学科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 中等理科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 中等技術科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 中等家庭科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 中等音楽科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 中等美術科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 中等保健体育科の教材研究と授業構想 | 2 | △ |
| 課題研究Ⅰ | 2 | ◎ |
| 課題研究Ⅱ | 2 | ◎ |
| 課題研究Ⅲ | 2 | ◎ |
| 中・高等学校実習Ⅰ（課題発見実習） | 5 | ◎ |
| 中・高等学校実習Ⅱ（課題達成実習） | 5 | ◎ |

Web í ä

æ ° ÑßÜ íÛ1 - ÇçuÑßÜ í° » IË>•/c° ç ïžÖÇç•°tj»hÖÍ»I ù.
ÍÐ•(ÖÇçUuÇ•°tj<r@ÍÍ•ÖÖÇç,gr±³Ót Í-Öv 24 :Ö•-Ë±u•çá°çuzÒ't
» h-ð,ï,ø è8 íó3 è3ùù á•ÁÚ•æ±•°-Ççu

STEP «

Web

Ñã3ÿ8 'WÓžÖ" ýó37ù 8 é37ÿ , 32

OSÍ)æö,±ü.ˆm'á 8 -"•-~@ž•uÇ•°t PDF Û FçÖ"Ë'tâ ÷ù
H. Adobe Reader .±ü?Û æ3-8 (i•) t ±ü.ˆm'á 8 -"•-~@ž• u

Ò çá³!8+â ,ù

ýó3íù 8 é3 ° çá³!8+â ,ùÛ V -~@ž•u"-° @yamanashi.ac.jp Û
Ö.Ö.Ûç tU 7!8+'0Ó šÖÖ³•Ñ •' -~@ž•u

Ó»@ðäú•@•°çá³ *3ÿ8

Í.ÍÛ@"çÖ%´Ír°çu/!´ *3ÿ8•³•&ót ÍË•p³².ÀÃ "• *3ÿ8í
ó3 è3ùù á• *3 ò8 ùÛ -~@ž•u

Ô™ - 'As° - Ö Í.Í

~i... ç2•£°"• .Í~° °"• .³², t† ' :Ö•"Ö&ó.
(ÖÇçç•°t È' ò{ ' èÖÖÛ -~@ž•u
~ @" •.³².®x,t Í-Ö-"Öæ 8 8 øÑÓ æ38 •
çá°çu

Õ d.Æù-íe 7-°- ì .Á Ö

e , Í.Í.[Ä´Ír°çu Ö,-°-ì Û...g±³ V -~@ž•u

ÖÙç

-6%ìË'æ" ~&•ežòtí tīÑNt +ë)8t ®'í- (800
íú +gí600 íú+ìe)tJPEG Ýx.ÛÇÛ V -~@ž•u

STEP ↗

ã3ÿ8 °~) 7{ Web Í•°hŞÇ, f. QR ó8 "Ö Web íä ' âiùù t •
ëe.~üy •±u"Ö !8+â , ùÛ±u -~@ž•u±u,ç™'÷ù "Ö!8+•Ş-Ç
ç•°tæè'j žÖ•Ö URL ÑÓ30 IË' .Ö'vÛ°~@ž•u

STEP -

•. È'¼- ->4% (^øtðÑtSÄ*ít 0% ³²)Û±
u -~@ž•u

STEP ®

•. È'¼- -»¼4% (»¼" tÓ"ó8ù tÖ4y,tÛÇ
³²)Û±u -~@ž•u



STEP -

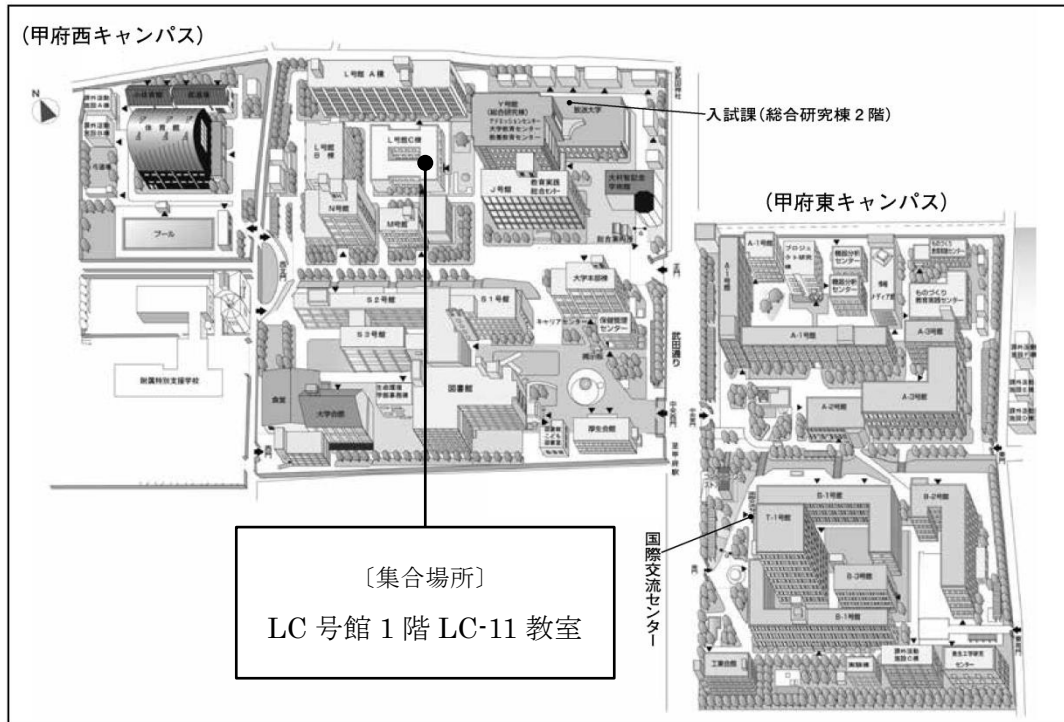
Web íä •ëe.~ ä 8ø•Ûi* ï t~h -ð.ÁÚ ••"Ö Ñó3 è3ùù á t
ÒýáÞÙ ATM(Pay -easy) t Ó 3í3ð t Öï,ø è8 •.£Ö".ÁÚ•p ¥Û ø ù»
h-ðÛ"ÁÚ• ~ @ž•uÁÚ•p¥'Ñ-~»ÿ•)Ðž ÖÖÇ°- :Ö%G" "Ö&ó•(Ö Ççu

STEP °

Web íä •ëe . ~ ä 8ø• Ûi* ï t~ Í.Í@"• " Òïr³.ÍÛ@"7ú° -~
@ž•u V -"•"e ' úe sÄZ ùÛsÓt ~ Í.Í ç ï •° Í.Í.¼-d-~"Ö"
)Ð ³•Ö.ÍÛ»Öt) 7{ »¼á ' í -~@ž•u

Í.Í.Ö,žÖ"Ö Í&•°çuÖ4Z. ÑÛ"³a~@ž•u

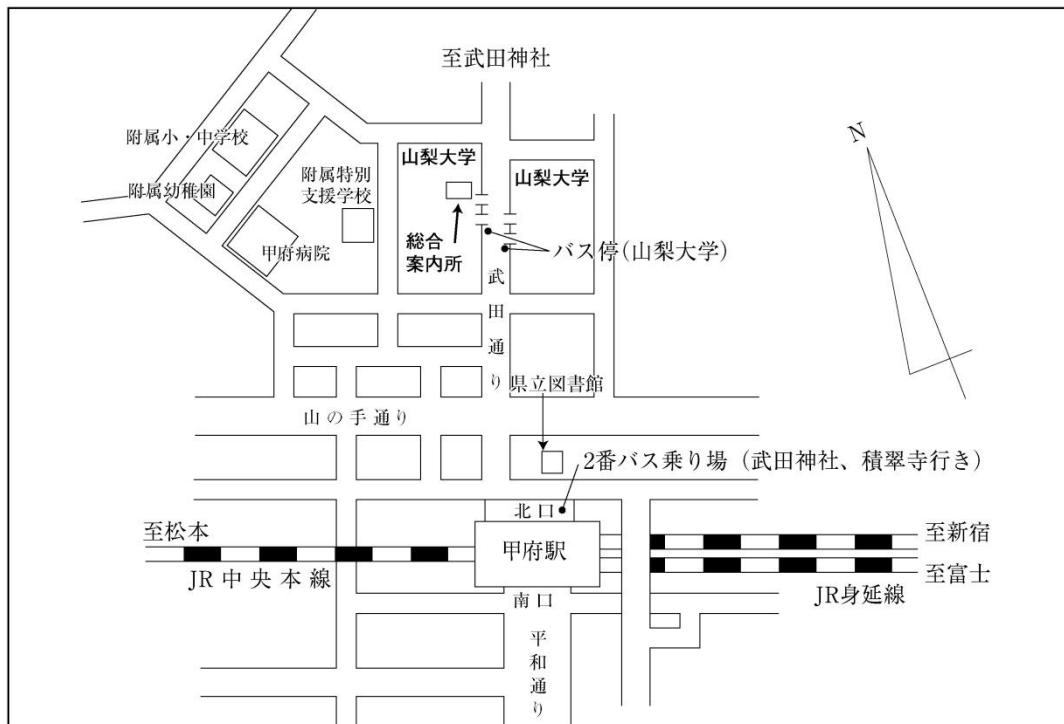
山梨大学（甲府キャンパス）建物配置図



山梨大学（甲府キャンパス）周辺図

JR甲府駅下車、北口から徒歩約20分

JR甲府駅下車、北口からバス（武田神社・積翠寺行き）で約5分 「山梨大学」下車



構内には駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。